



小笠原保全講演会

小さなチョウをはぐくむ  
大いなる自然

- 小笠原の森林生態系 -

2017.12.9 sat. 13:00-16:00

中学生以上 150名 / 事前募集 / 参加費無料  
多摩動物公園 ウォッチングセンター 動物ホール

東京都多摩動物公園

基調  
講演

## 動物と植物のつながりから見た 小笠原の多様性

/ 講師：加藤英寿 首都大学東京大学院理工学研究科助教

小笠原諸島の植物はオガサワラシジミなどの固有種のえさとしてだけでなく、その生息環境を構成する役割も大変重要である。動物と植物は密接にかかわり合いながら小笠原独特の自然をつくりあげており、どちらの多様性が欠けても森林生態系は維持できない。植物から見た小笠原諸島の森林環境について紹介する。



講演  
1

## 母島の自然を守るために 考えなくてはならないこと

/ 講師：児嶋翼 オガサワラシジミの会

昨年まで環境省小笠原自然保護官事務所母島事務所職員であった講師が、固有種の宝庫である母島の多様な生物について紹介する。また、これらの生物がおかれた現状や保全の必要性について伝える。

講演  
2

## 多摩動物公園における オガサワラシジミの生息域外保全活動

/ 講師：石島明美 多摩動物公園教育普及課 昆虫園飼育展示係

多摩動物公園では 2005 年からオガサワラシジミの生息域外保全の取り組みを開始し、今年度、初めて安定した繁殖方法を確立した。ここに至るまでの試行錯誤の過程や得られた知見、また、生息域内保全との連携について報告する。

講演  
3

## 都立動物園水族園による域外保全 ・新たな種への取り組み

/ 講師：藤井智子 多摩動物公園飼育展示課 野生生物保全センター長

都立動物園・水族園が今年度から取り組んでいる小笠原陸産貝類の保全活動について報告する。

多摩動物公園では 2005 年から  
小笠原諸島固有のチョウである  
オガサワラシジミの保全に取り組んできました。  
講演会では、その取り組みを報告するとともに  
オガサワラシジミがくらす森林生態系を  
動物と植物の関わりという視点から紹介します。  
小さなチョウをめぐむ小笠原諸島の自然について  
一緒に考えてみませんか。

応  
募  
方  
法

往復はがき、またはEメールで以下のとおりお申し込みください。

※先着順とします。締切前に定員に達した場合は、多摩動物公園ホームページでお知らせします。

■往復はがき 11月30日(木) 必着

往信面に参加希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入し、返信面に代表者の住所・氏名を明記のうえ、次の宛先までお申し込みください。【あて先】〒191-0042 日野市程久保7-1-1 多摩動物公園「小笠原保全講演会」係

■Eメール 11月30日(木) 送信分まで有効

ogasawara2017@tokyo-zoo.net 宛に、件名を「小笠原保全講演会参加希望」とし、本文に参加希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。

お申し込みの際は、@tokyo-zoo.net からのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。



本講演会の開催時間中、0歳～就学前までのお子様の託児サービスを実施します。ご希望の方は、11月15日までに託児を希望するお子様の年齢(講演会実施日現在)と人数をご連絡ください。料金は無料です。応募者多数の場合は抽選となります。

## 東京都多摩動物公園

【開園時間】 9時30分～17時(入園は16時まで)

【休園日】 毎週水曜日(祝日や都民の日にあたるときは翌日)

【入園料】 一般600円/65歳以上300円/中学生200円

\*小学生以下および都内在住、在学中学生は無料

【お問合せ】 東京都日野市程久保7-1-1 TEL:042-591-1611(代)

【URL】 <http://www.tokyo-zoo.net/tama/>

